

## 平成28年度 埼玉県学力・学習状況調査—小学校の結果分析について—

＜○教科の結果についての概要 ☆指導改善のポイント＞

### 小学校第4学年

#### 【国語】

○全領域において概ねできていた。文の順序を並び替えて話の内容を組み立てる問題については、学習の定着が見られた。しかし、条件に沿って理由をあげながら自分の考えを明確に書くことについては、課題が見られた。

☆日頃より、自分の考えと、「なぜかというところ・・・」と理由を説明する2段落構成の文章の形式で、話したり書いたりする学習を継続的に取り入れていく。

#### 【算数】

○全領域において概ねできていたが、「文章を読み、その関係を□を使って式に表す」問題において、学習内容の定着に課題が見られた。

☆文章から何算が適用される場面かを捉え、その数量関係を式に表す学習を積み重ねていく。

### 小学校第5学年

#### 【国語】

○全領域とも概ねできていた。特に、登場人物の関係を読むことについては、学習内容の定着が見られた。しかし目的に応じて理由をあげながら自分の考えを明確に書くことについては、課題が見られた。

☆話題に対する自分の考えと、資料の内容をもとに考えた理由を説明する、という2段落構成の文章を書く学習指導に取り組み、日常でも活用させる必要がある。

#### 【算数】

○全領域において概ねできていた。特に、「折り紙を折ったり切ったりして作られる三角形の名前を答える」問題は、学習内容の定着が見られた。「表の空欄に入る数の求め方を式や言葉を用いて説明する」問題において、無解答率が高く、課題が見られた。

☆目的に応じて集めた資料を分類整理した表において、消えている部分を他の部分からどのように導き出すか考えることが必要となる。自分の考えを、式や言葉を用いて説明することに継続的に取り組んでいくことが大切である。

### 小学校第6学年

#### 【国語】

○全領域とも概ねできていた。特に、登場人物の関係や物語の出来事を理解する問題については定着が見られた。しかし、主語・述語の関係や修飾・被修飾の関係等、文の構成の理解や、目的に応じて理由をあげながら自分の考えを明確に書くことに課題が見られた。

☆主語・述語・修飾語の関係については、「読むこと」や「書くこと」の学習においても指導することが大切である。また目的に応じて理由をあげながら自分の考えを書く学習については、資料を参考に問題を解決する自分の考えについて、文章構成を考えながら書く活動に継続的に取り組み、日常生活でも活用させる必要がある。

#### 【算数】

○全領域とも概ねできていたが、「全体と部分、部分と部分の関係を割合を用いて表す」問題など、割合や単位量あたりの大きさに関する問題において、定着に課題が見られた。

☆割合や単位量あたりの大きさの場面を考える際には、文章から読み取った数量関係を、数直線を活用するなどして捉えた上で、立式し、解決することが大切である。